

GOLD HILLS

令和3年 3月 vol.15 通信

私事ではございますが、この度令和3年3月1日よりリボン定期巡回センター平岸センター長の任より、GoldHills平岸住宅管理者として配置替となり、当月より事務所に務めております。従来のホーム長としての立場は相違ございませんので、役割が変わっても、皆様の生活をお守りする事を主な生業として務めさせていただきます。

新型コロナウイルスも北海道においては小康状態となり、今月より幾分の制限緩和策を講じているところでございます。

このまま、制限の全面解除となるまで何事もなく進めば良いと思いますが、高齢者の皆様をお預かりする立場を重んじ、慎重に判断させていただきたいと思います。

今後とも、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

GoldHills平岸
ホーム長 横山 光利

イベントコーナー

1. ゴールドヒルス点検2



②



①



③



ゴールドヒルス探検第2弾。今回は玄関を探検。

- ①「受付」
 - ②「下駄箱」
 - ③「自動販売機」
- を紹介させて頂きました。

2. お雛様



ゴールドヒルス各フロアに登場したそれぞれのお雛様たち。受付に登場した左の写真の「立ち雛様」が入居者様からの1番人気でした。



今月は

1. ゴールドヒルス探検2

2. お雛様

3. パーフェクトボディー
をお送りします

3. パーフェクトボディー



テイサービスにあるパーフェクトボディー通称「フルフルマシン」。利用者様の中でこのマシンがひそかなブームとなっているそうです。

レッツ脳トレ！ 難読地名クイズ ♪ 北海道編 ♪

『支寒内』



セラビードッグ
リボンちゃん

ヒント：千歳市にある地名なのでご存じの方も多いかと思います。私
はお酒のお供という印象が強いです～

2月号の答えは、「ちろっと」です。アイヌ語で「鳥の沼」という意味の「チロ・ト」が変化し漢字を当てられたとのこと。北海道の南東にある幕別町の難読地名の1つで、どう考えても「白人」という字面から「ちろっと」という読みには到達できませんよね。次回もお楽しみに！！

平岸をぶっ飛ばす

～とっておき情報をお届け～

平岸の歴史

今回はエリアを少し拡大して豊平区の歴史。平成に入り豊平区は発展を続けました。平成8年には人口も30万人を突破し、翌9年には清田区が分区しました。



平成13年には札幌ドームが羊ヶ丘に誕生。各種のスポーツ・文化イベントが開催されています。

豊平区の発展と共に、平岸地区はとても住みやすい、マンションが立並ぶ住宅街となりました。



令和以降も平岸は暖かな住みやすい街として発展していくことでしょう。今回で平岸の歴史は終了となります。次回番外編をお送りします。



委員会を紹介してもいいんかい！コーナー

今回のご紹介は...

『環境委員会』

私達は、利用者様が住みやすい環境になるよう、ゴミ処理や感染対策に必要な手袋やマスク品等、備品の確保や環境整備を行っております。

住宅内だけではなく、敷地周辺の衛生面にも気を配り、雪解けに併せてゴミステーションや歩道の清掃活動にも力を入れていきます。よろしくお願い致します。



職員紹介コーナー

訪問看護ステーションの看護師をしています熊谷真紀です。

健康な人にも看護が必要だと思い看護師を志しました。看護師は診断も治療もしません。薬の処方也不能せん。健康な人が一日も長く健康でいられるように、病気の人がうまく病気と付き合っていけるように、その人がその時々で持つ力を最大限に発揮できるよう、そばで応援することが看護だと思います。そのため「糖尿病の山田さん」ではなく、「長年町内会長を務めた山田さんが糖尿病になった」というように、ただ病気を見るのではなく、その人の人生を尊重します。みなさまが語ることを大切にナラティブなかわりを通して、これからもみなさまの強みを引き出し、みなさま自身が健康行動をとることができるよう、お手伝いを続けて行きたいと思っています。